

平成23年度 青森県森林病虫害等防除活動支援体制整備促進事業

# 青森県森林病虫害等 防除センターだより

No 37

2012.1



東日本大震災における津波被害(八戸市市川町船溜地内) 写真提供：林政課

青森県森林病虫害等防除センター

# 県内2例目、松くい虫被害

平成23年9月20日、県は深浦町大間越字笥地内のクロマツ2本が県内2例目の松くい虫被害（マツノザイセンチュウ病）である事を発表した。尚、経緯等については以下のとおりである。

## 「松くい虫被害」のクロマツについて

深浦町大間越地区の「松くい虫特別予防監視区域（以下「監視区域」という。）」内で、松くい虫被害のクロマツが確認された。

### 1 クロマツの場所・本数等

- (1) 場所：深浦町大字大間越字笥 地内
- (2) 林齢：36年生
- (3) 本数：2本（間隔約20m）

### 2 経緯

- (1) 平成23年9月6日（火）  
松くい虫被害及びナラ枯れ被害の確認のため、県の防災ヘリコプターにより上空探査したところ、黄変したマツ2本を確認。
- (2) 同 9月9日（金）  
地方独立行政法人青森県産業技術センター林業研究所の診断キットによる鑑定の結果、マツノザイセンチュウの疑いのある線虫を確認。
- (3) 同 9月10日（土）  
マツノザイセンチュウをより精密な検査で同定するため、黄変したクロマツの材片を採取し、独立行政法人森林総合研究所へ送付。
- (4) 同 9月20日（火）  
松くい虫被害であると確認、発表した。

### 3 これまでの対応

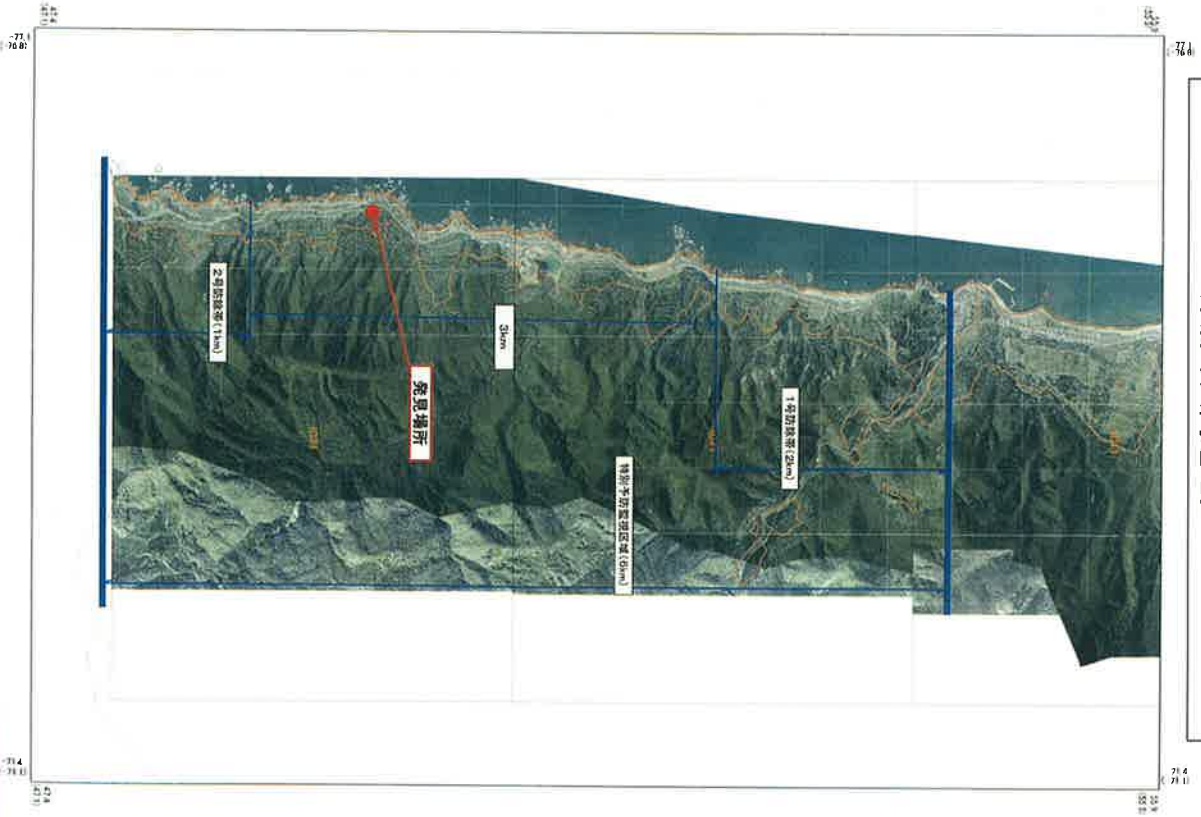
- (1) 被害の疑いのあるクロマツ2本は伐採・くん蒸処理済み。
- (2) 被害の疑いのある木の周辺のクロマツ林（約1.33ha）を目視調査したところ、異常のあるマツは確認されず。
- (3) 東北森林管理局と連携し、監視区域の毎木調査と監視区域以外の旧岩崎村全域の目視調査を実施したが、異常のあるクロマツは発生されず。

### 4 今後の対応

- (1) 繁殖・感染源の除去  
上記、(3)のほかに健全な松林を維持するために、監視区域内の衰弱木や枯損木の除去などを実施した。（9月中旬～）



上空からの状況：  
黄変した(枯れた)マツ2本を確認



松くい虫被害のクロマツ位置図  
深浦町大間越地区



# 平成23年度青森県松くい虫等被害対策協議会

平成23年9月22日、ラ・プラス青い森の会議室において平成23年度青森県松くい虫等被害対策協議会が開催された。協議会には国、県、市町村、建設業者、林業関係者などの職員41名が出席した。



## 協議内容

- (1) 深浦町における松くい虫被害の状況について  
前ページ県公表と同様のため割愛

## (2) 今後の被害拡大防止対策について

### (1) 県

#### ① 繁殖・感染源の除去

監視区域については、今後も引き続き監視を続け、異常木については発見し次第、伐採・くん蒸処理するとともに、つる切りや枝打ちなどを実施し、林内環境を整理する。(9月下旬～)

#### ② 県内全域での目視調査の実施

9月下旬から10月中旬までの期間に、低地から標高400m程度までの松林について、目視調査を実施する。

#### ③ 松くい虫被害現地調査の実施(9月27日)

##### ア 場所

(ア) 現地調査：特別予防監視区域

(イ) 打合会議：深浦町役場岩崎支所(社会文化会館2階白神)

##### イ 打合せ会議の内容

(ア) 調査結果及び課題等の確認

(イ) 今後の対応について

##### ウ 参加者

林野庁、東北森林管理局、東北森林管理局青森事務所、津軽森林管理署、(独)森林総合研究所東北支所、秋田県、深浦町、(地独)青森県産業技術センター林業研究所、青森県、西北地域県民局

#### ④ 県民に対する情報提供の呼びかけ

ア メールマガジン「メルマガあおもり」(9月23日)

イ ラジオ「RAB 県広報タイム」「FM青森 情報パレット」(9月29日)

### (2) 国(東北森林管理局)、市町村及び関係団体

#### 《国(東北森林管理局)》

① 森林の巡視の強化

② 衰弱木や枯損木の適正な処理

③ 松林の健全化を促すためのつる切りや枝打ちなどの林内整理

#### 《市町村》

- ① 広報誌、チラシ、回覧板等による情報提供の呼びかけ（別紙）
- ② 防災無線による情報提供の呼びかけ
- ③ 森林や公園、庭木の巡視の強化
- ④ 衰弱木や枯損木の適正な処理
- ⑤ 松林の健全化を促すためのつる切りや枝打ちなどの林内整理

#### 《J R東日本》

- ① 森林の巡視の強化
- ② 衰弱木や枯損木の適正な処理
- ③ 松林の健全化を促すためのつる切りや枝打ちなどの林内整理

#### 《青森水源林整備事務所及び青い森農林振興公社》

- ① 森林の巡視の強化
- ② 衰弱木や枯損木の適正な処理
- ③ 松林の健全化を促すためのつる切りや枝打ちなどの林内整理

#### 《森林組合》

- ① 組合員に対する情報提供及び森林巡視の呼びかけ
- ② 森林の巡視の強化
- ③ 組合員に対する衰弱木や枯損木の適正な処理の指導
- ④ 補助事業を活用したつる切りや枝打ちなどの林内整理の促進

### (3) その他

#### 『松くい虫被害防止に係るマツ緑化木や苗木等の取扱いについて』

（平成23年4月6日付け青林第23号青森県農林水産部長通知）（抜粋）

- ① 県外産（北海道産を除く。）の松緑化木は使用しない。
- ② 松くい虫被害地域から松材（丸太、支柱等）を持ち込まない。
- ③ 枯れたマツや衰弱したマツを発見したときは、速やかに県に連絡すること。



## ナラ枯れ被害対策研修会

平成23年7月1日、当防除センターは青森県と共催でナラ枯れ被害対策研修会を青森県産業技術センター林業研究所で開催した。参加者は国、県、市町村、造園業者、森林組合の職員等63人に及んだ。

研修会では県 林政課 森林保全グループ 成田 鶴美主幹が「ナラ枯れ被害の状況」について、山形県森林研究研修センター 斎藤 正一森林環境部長は「ナラ枯れ被害の実態と防除方法」の講義と、「樹幹注入法と伐倒駆除法」を実演した。研修内容は下記のとおり。



### (1) ナラ枯れ被害の現状と防除対策

#### 1) ホストはナラ類の生立木

→ 山形県ではミズナラ、カシワ、コナラ、クリの順に枯れやすい

#### 2) 伝染者はカシノナガキクイムシ

→ 体長5mmのクイムシ、孔道は複雑、ナラ菌と共生する菌類を食べる

### 3) 枯死の原因はナラ菌

→ カビの仲間、あんまり強くない菌なのだが、初期伸張は抜群！

## (2) 防除方法とその整理

### 1) 単木的な防除方法

- (1) 駆除
- ① N C S の注入処理法
  - ② N C S による伐倒天幕被覆処理法
  - ③ 焼却、チップ化、炭化法
  - ④ 粘着剤の樹幹散布法
  - ⑤ 菌類の接種法
- (2) 予防
- ① ビニールシート巻き付け法
  - ② 殺菌剤樹幹注入法
  - ③ 粘着剤、殺虫剤散布法

### 2) 面的な防除方法

- (1) 被害前に伐採により利用
- (2) カシノナガキクイムシの合成フェロモンを利用した方法  
(実証試験完了。フェロモンの農薬登録待ち)



樹幹注入法



伐倒駆除法

尚、ナラ枯れ被害の実態と防除方法についてはセンターだよりNo36号にも記載されています。

● 発 行 ●

**青森県森林病虫害等防除センター**

青森市松原一丁目16番25号 青森県森林組合連合会内

TEL 017-723-2657 FAX 017-723-1505

<http://www.aomori-pfau.or.jp/>